

「みなさんの意見を聞かせてください！」 アンケート調査結果

基礎データ

※以降の表記において、

小学校 4 年生及び義務教育学校 4 年生は「4 年生」、

中学校 1 年生及び義務教育学校 7 年生は「7 年生」、

中学校 3 年生及び義務教育学校 9 年生は「9 年生」と記載することとする。

	回答数	内訳		
		4 年生	7 年生	9 年生
山田地区	130	43	45	42
稲築地区	298	88	106	104
碓井地区	96	27	33	36
嘉穂地区	157	56	47	54
合計	681	214	231	236

※中学生21名が不具合により回答できず、再回答で3名が改めて回答済み。

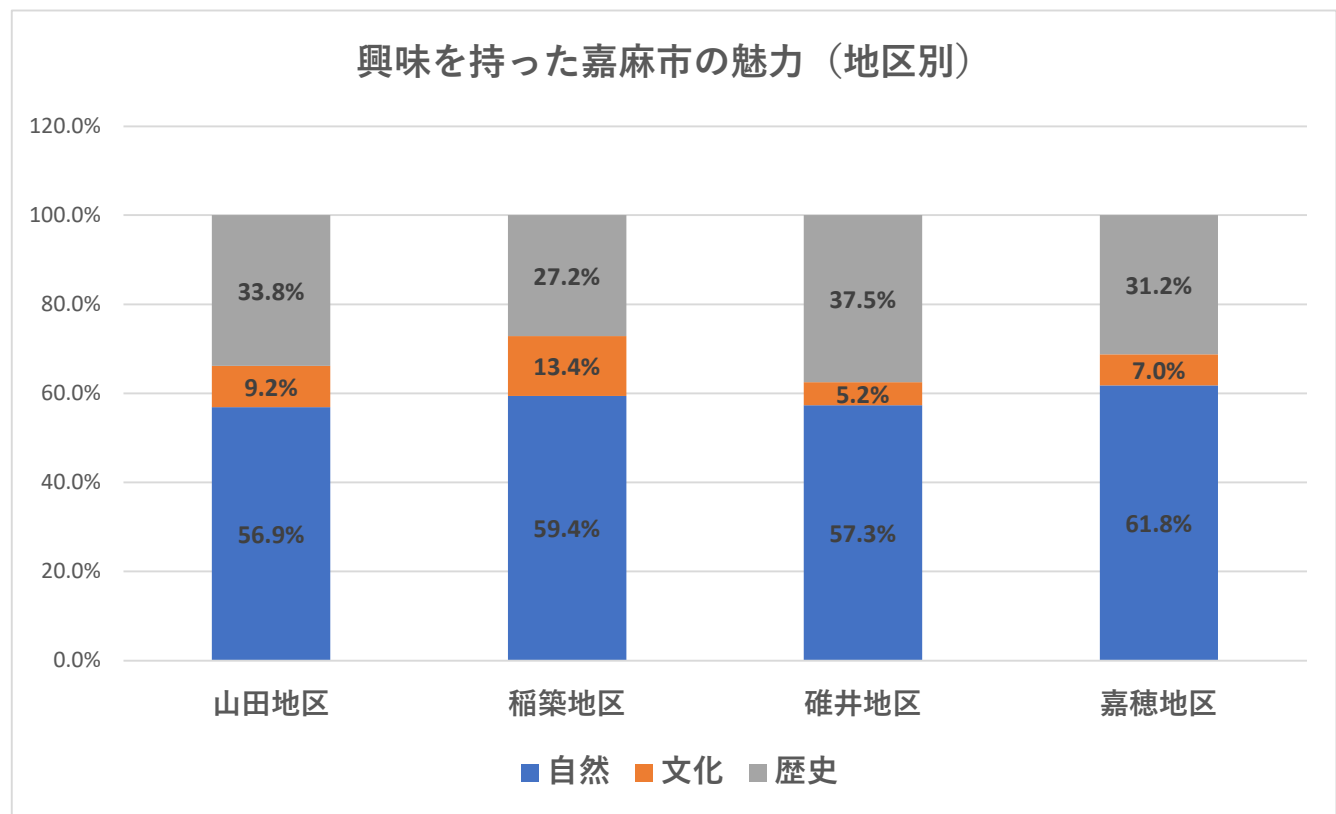
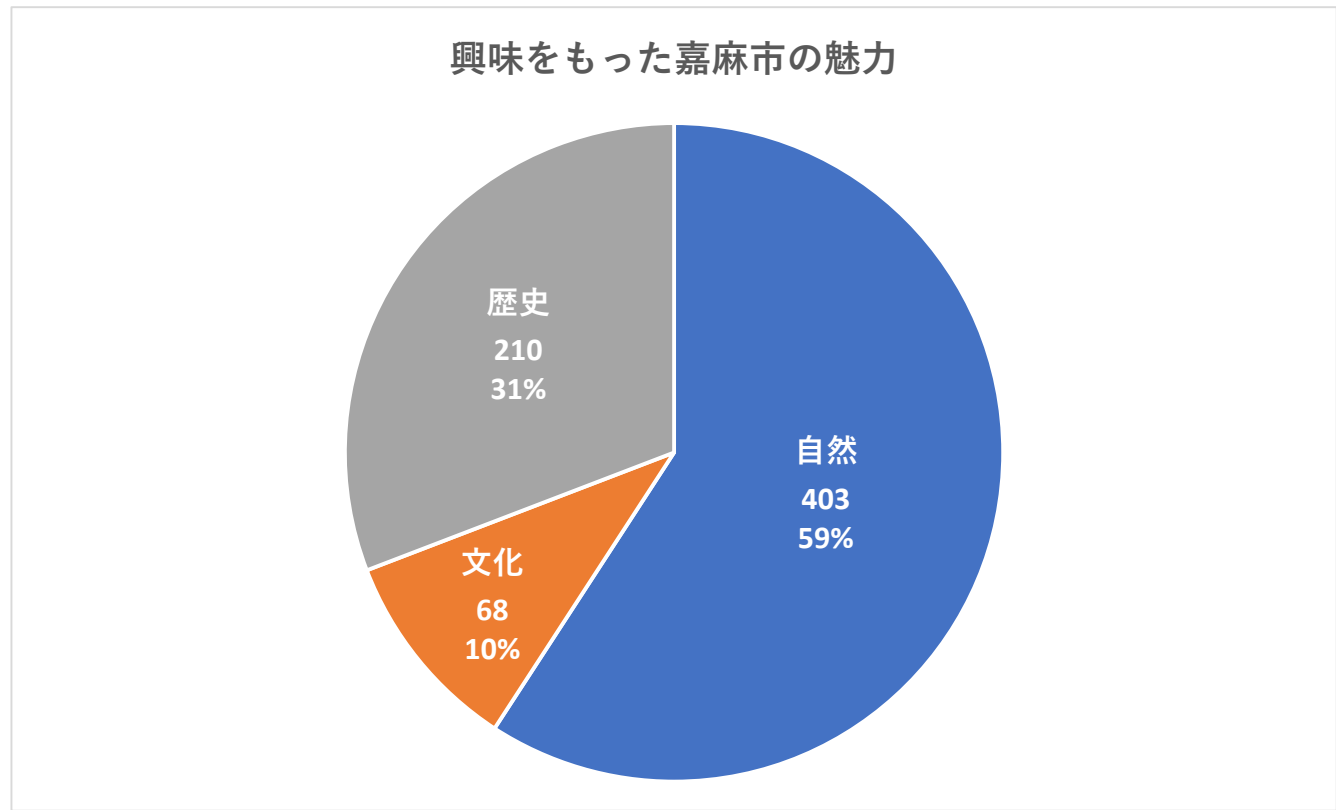
18名についてはQ1、Q2のみに回答。（Q3以降は663名回答）

稲築東義務教育学校7年生12名

稲築東義務教育学校9年生8名（内3名が再回答）

碓井義務教育学校7年生1名

1. 嘉麻市の自然・文化・歴史のどれに興味をもちましたか？

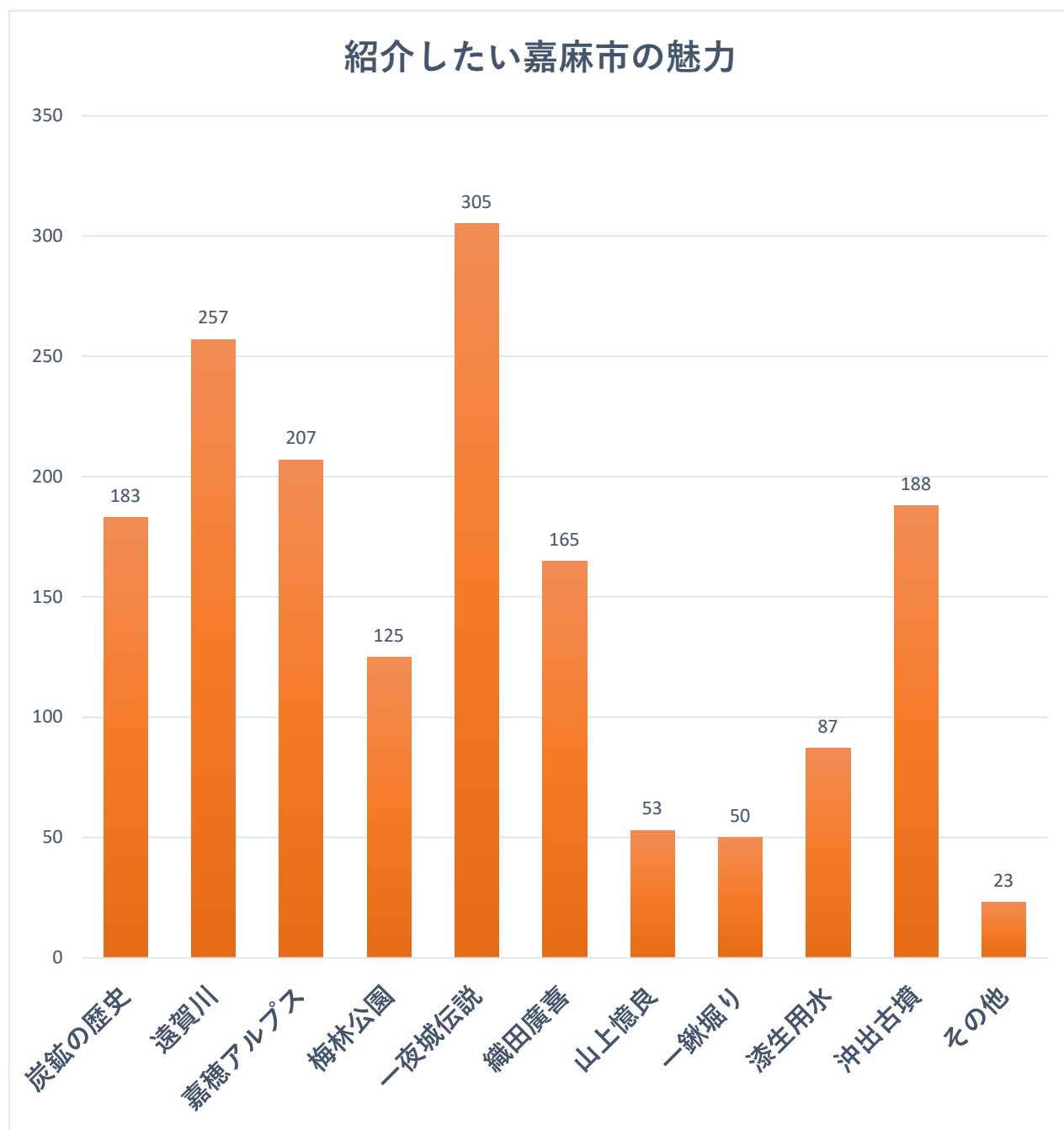


（考察） 嘉麻市の魅力に自然を挙げる回答が多く、自然を愛する気持ちを育て、郷土愛を高める取り組みの促進が肝要と思われる。

郷土館のある碓井地区では歴史の割合も高く、こどもたちの教育に利用できると考えられる。

稲築地区では文化の割合が他と比べて高く、「山野の楽」など、伝統を守り育てる地域住民の気質がこどもたちにも影響していると思われる。

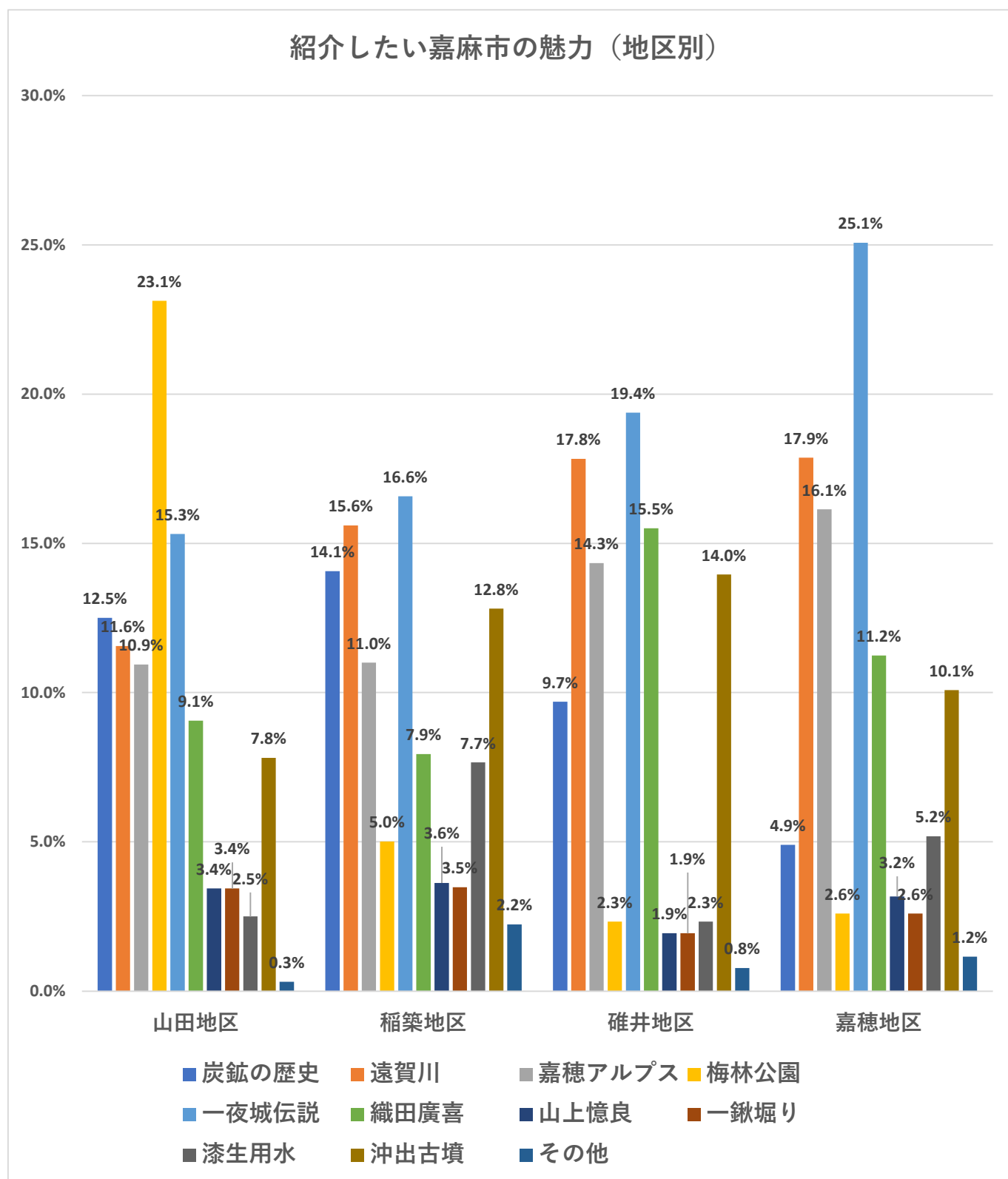
2. 嘉麻市の良さを紹介するとしたら、何を紹介したいと思いますか？



（考察） 嘉麻市の歴史の中でも一夜城伝説を中心とした大隈地域は、市全体をとおしてこどもたちからも魅力があると思われる。一夜城伝説を含めた様々な歴史が国道322号を中心としたヒストリーロードとして存在し、これらを活用したまちづくりを進め、郷土愛を育む取り組みへとつなげていきたい。

多数挙げられている遠賀川や、嘉穂アルプスなどの雄大な自然はこどもたちを健やかに成長させてくれるものと思われ、これからも大切な嘉麻市の資源としてこどもたちが学べるよう活かしていきたい。

2. 嘉麻市の良さを紹介するとしたら、何を紹介したいと思いますか？



（考察）

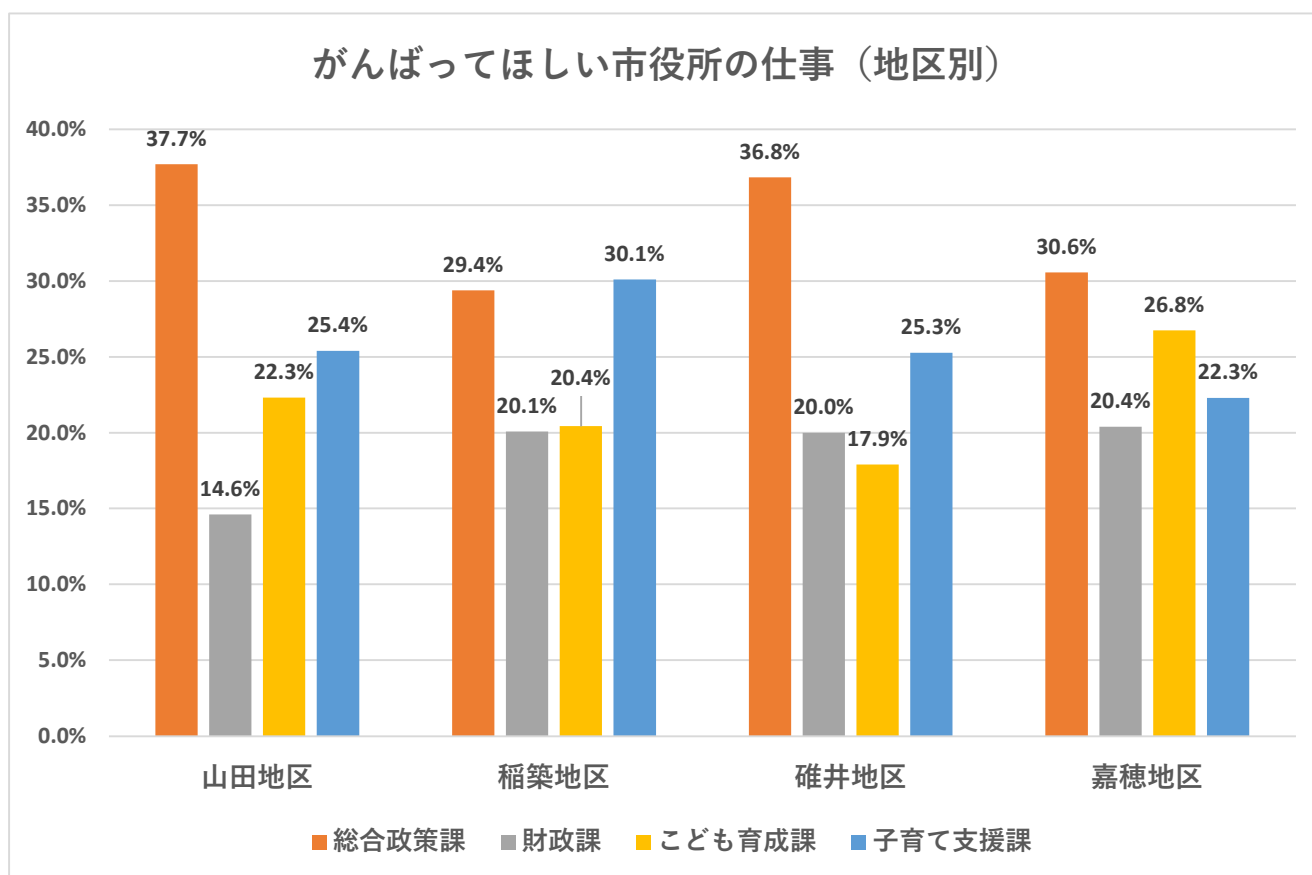
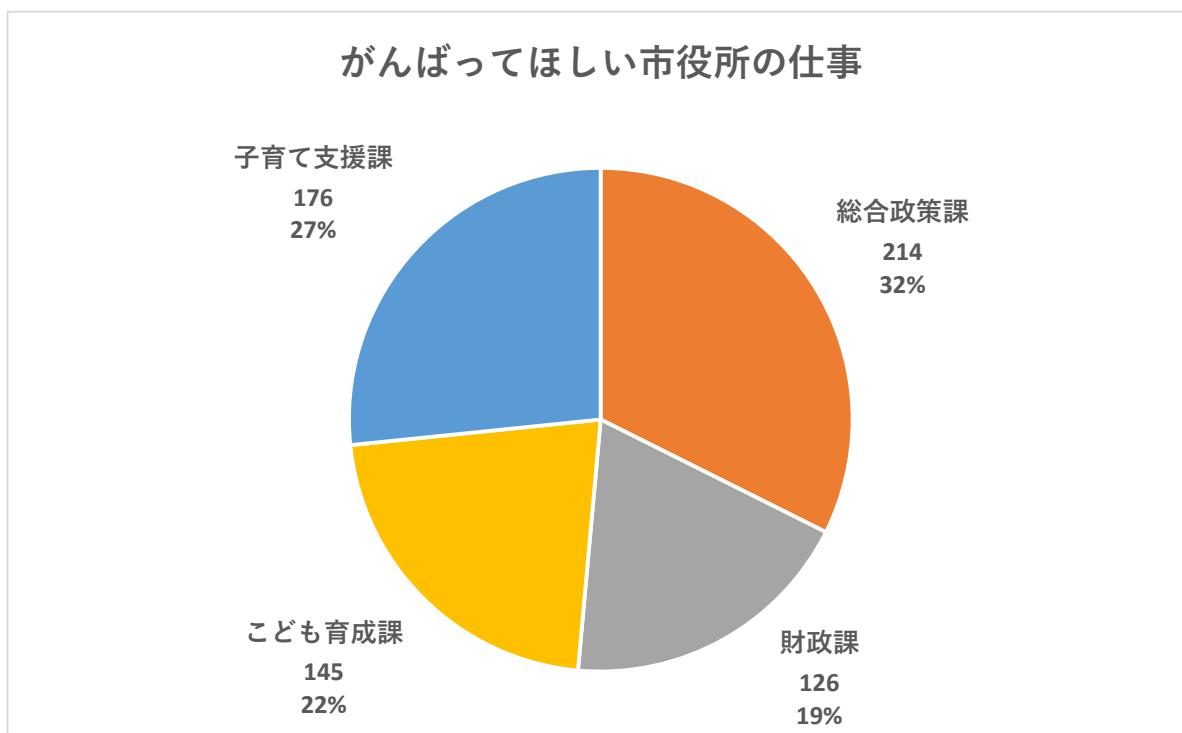
山田地区：梅林公園の割合が高いため、地元として誇りに思っていることが窺える。

稲築地区：一夜城伝説の割合が高く、合併後、他地域の魅力についても知られてきていることが考えられる。また地区を縦断する遠賀川についても魅力あるとする回答が得られている。

碓井地区：稲築地区と同様である。また、美術館を抱えており、織田廣喜の回答も多い。

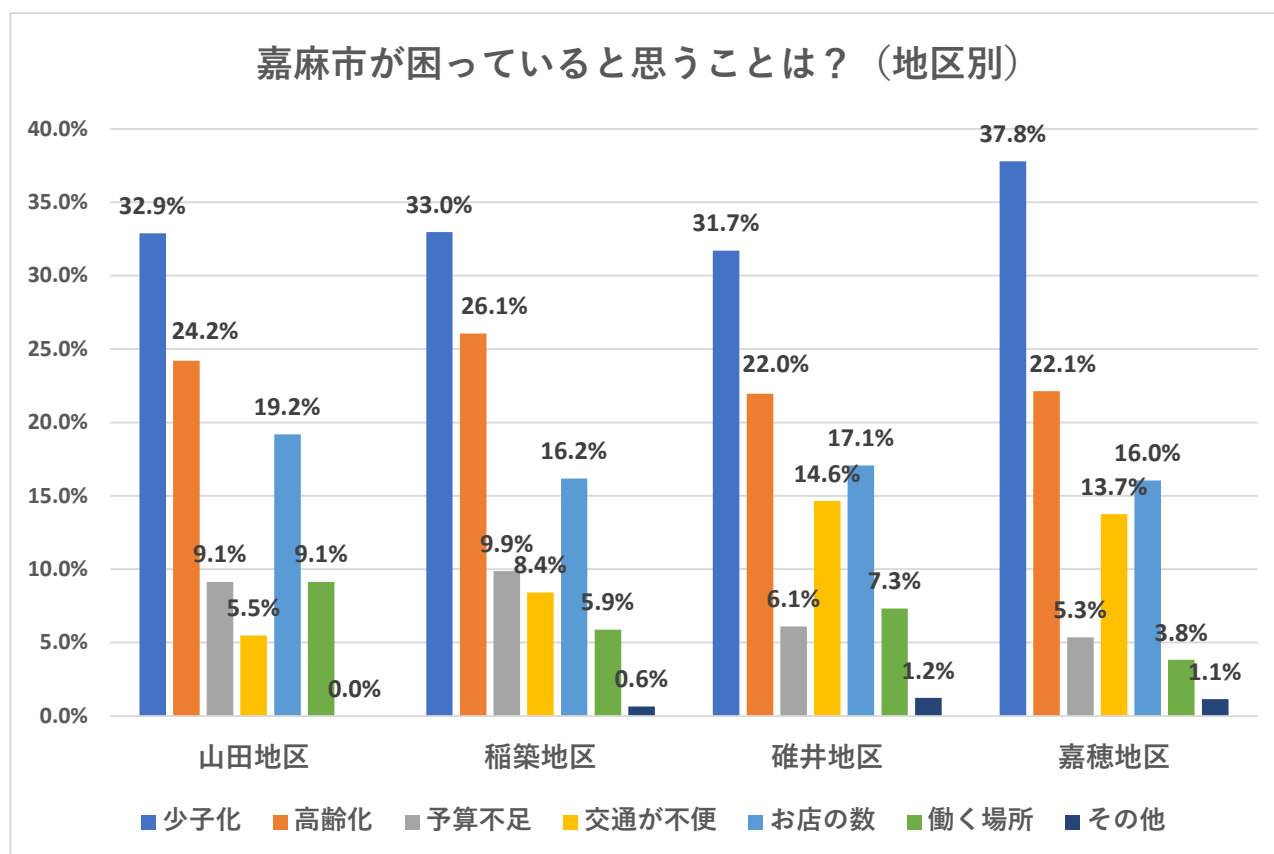
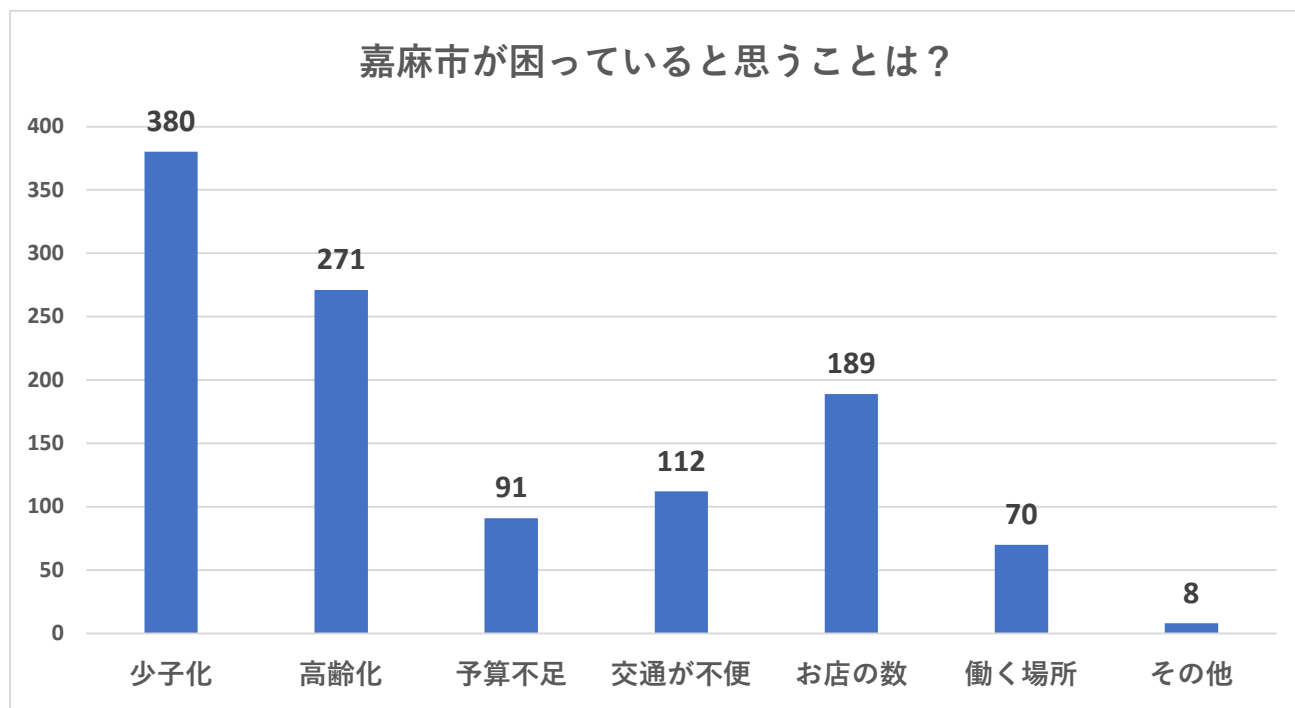
嘉穂地区：一夜城を魅力とする回答が圧倒的に多いが、自然に魅力を感じる回答も多い。

3. 動画に出た市役所の仕事の中で、こどもたちが暮らしやすくするためにがんばってほしい仕事は？



（考察） 総合政策課の割合が高く、市全体の政策が子育て環境を作るうえで重要だと思われる。次に割合が高いのは子育て支援課で、こども一人ひとりに応じた支援を望まれていると思われる。全体政策と、きめ細やかな政策の両輪での支援が必要である。他の地区と比べ、嘉穂地区ではこども育成課の取組がこどもたちが暮らしやすくなるために必要だと考えている。

4. 嘉麻市が困っていることはどんなことだと思いますか？（2つまで）

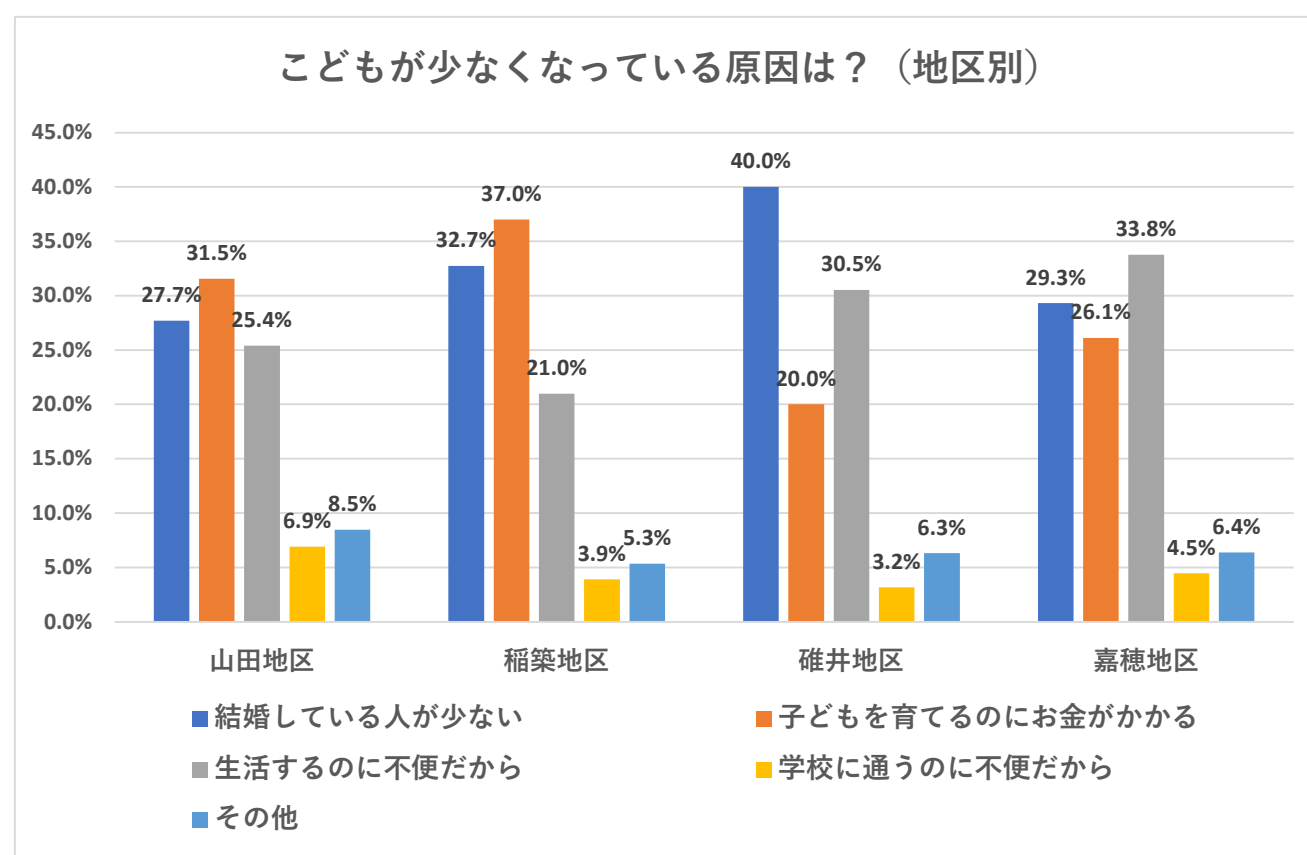
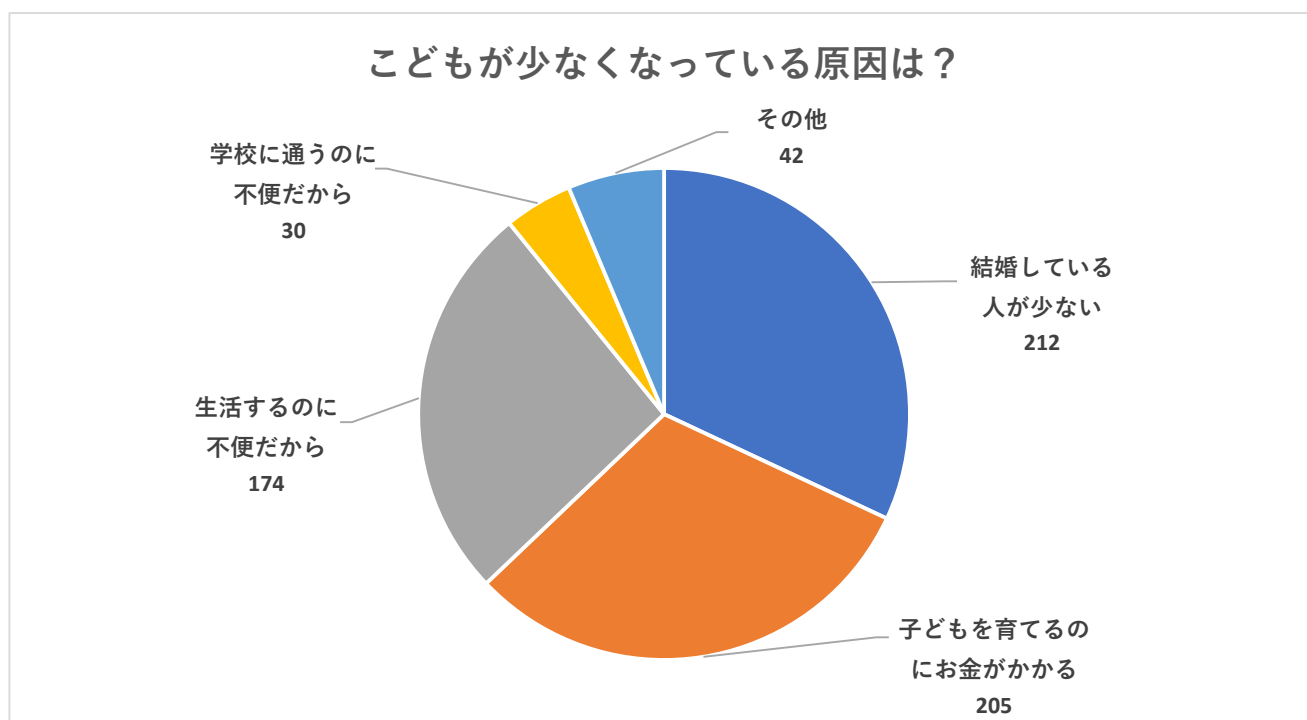


（考察） 少子化を懸念する回答が高く、特に嘉穂地区では高い割合で回答されており、少子化が切実なのが窺える。

高齢化も市の困りごととして割合が高いが、市内のお店の数が少ないことも子どもたちの中では多くを占めている。

就学中であるため、働く場所については関心が低いと思われる。

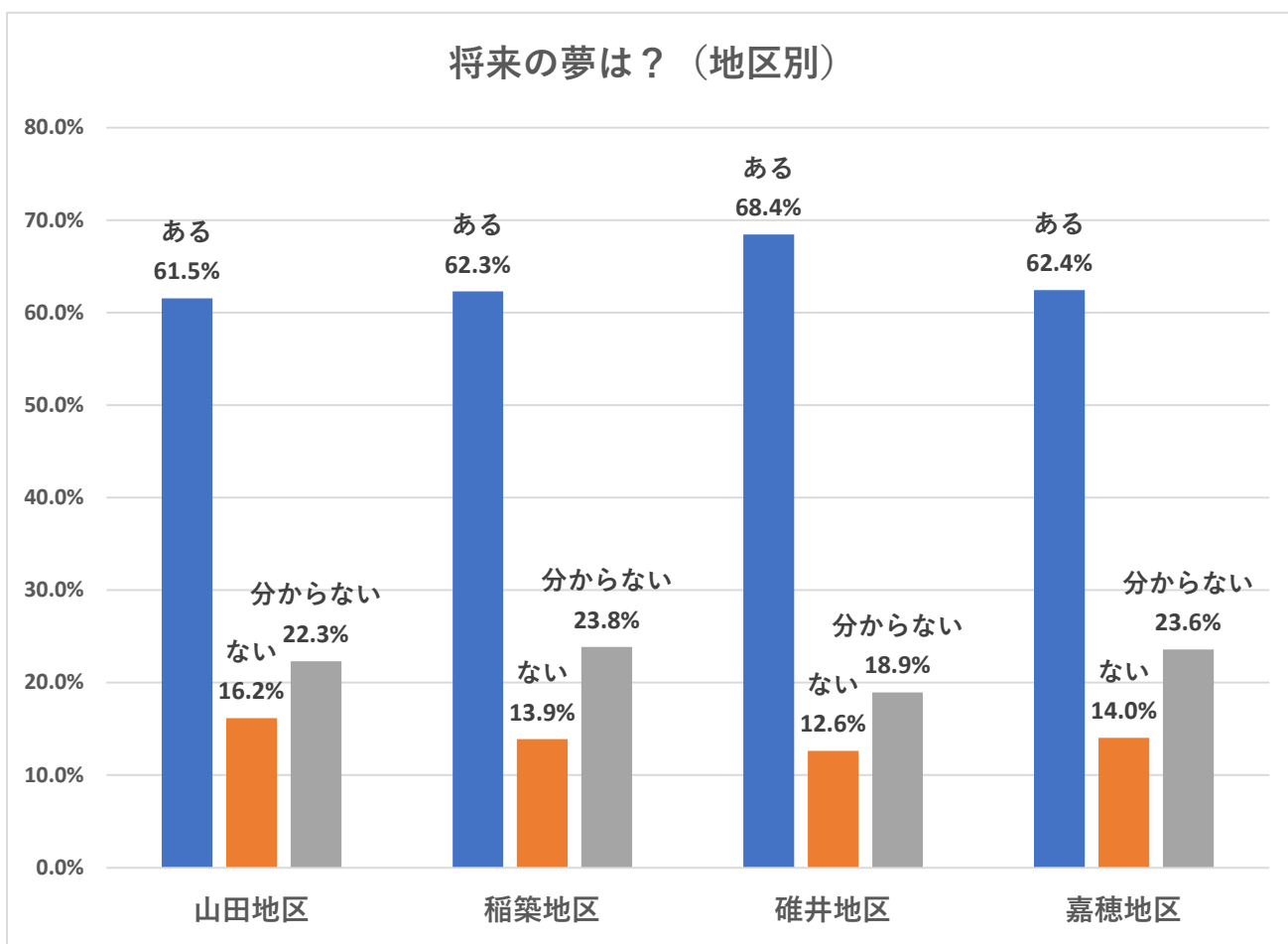
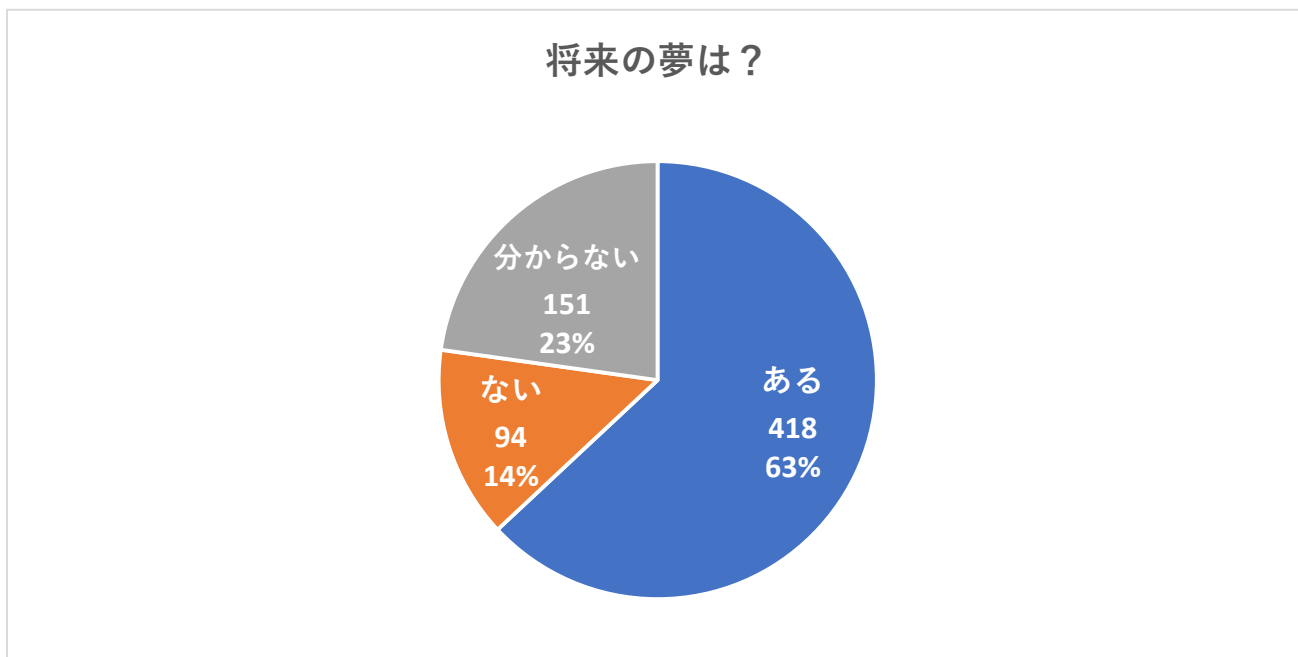
5. 嘉麻市でこどもが少なくなっているのは何が原因だと思いますか？



（考察） 結婚している人の少なさにこども減少の原因を感じている回答が全体的に多く、特に碓井地区では顕著である。結婚・妊娠・出産の初期段階での政策が重要と思われる。こどもを育てるのにお金がかかることも回答が多く、嘉麻市が行う子育てに関する費用負担軽減（医療費や交通補助など）の周知徹底や、その他子育て支援による負担軽減の検討が必要である。

また、嘉穂地区を中心に生活の不便さを原因とする回答の割合も高い。

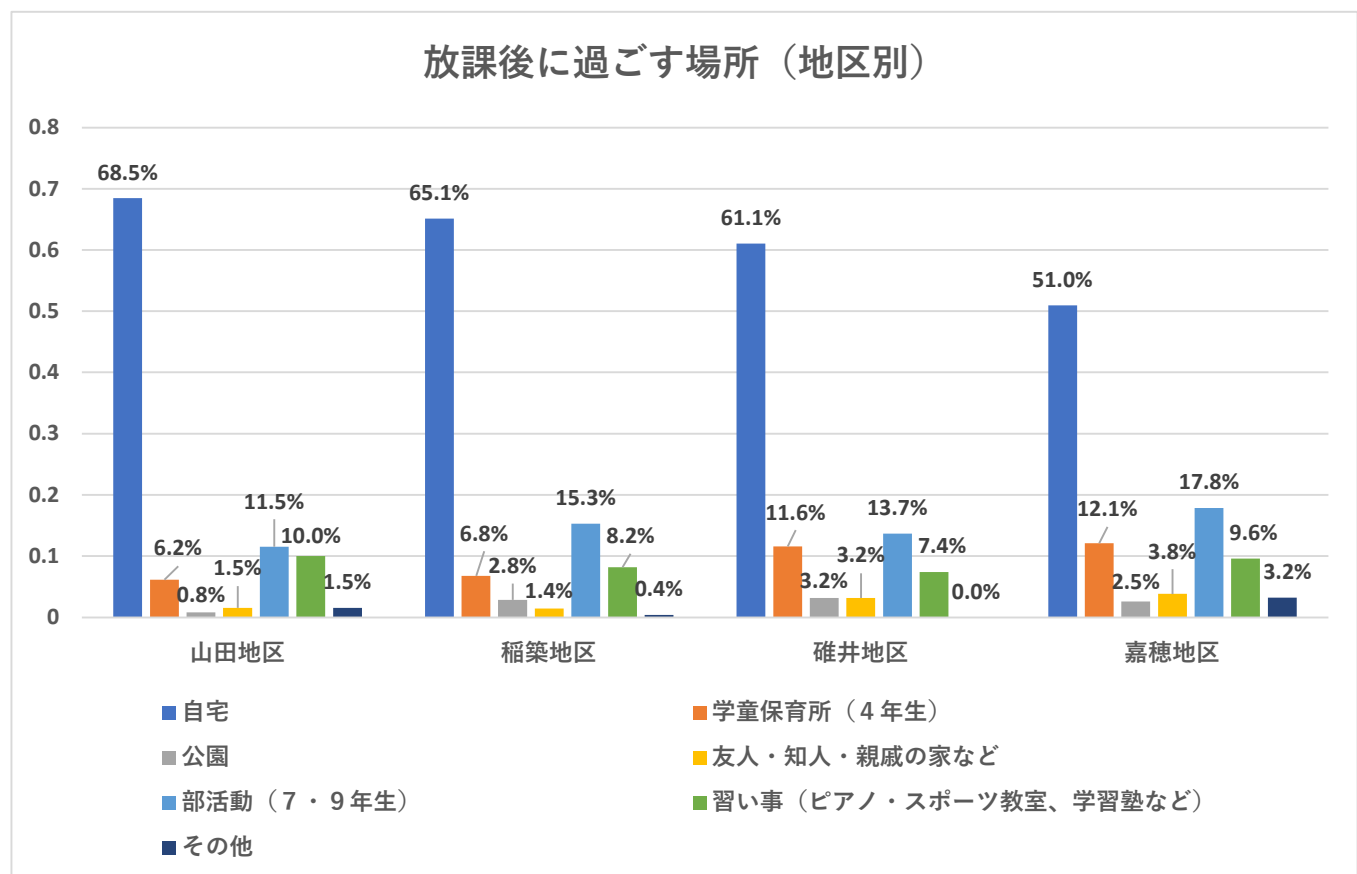
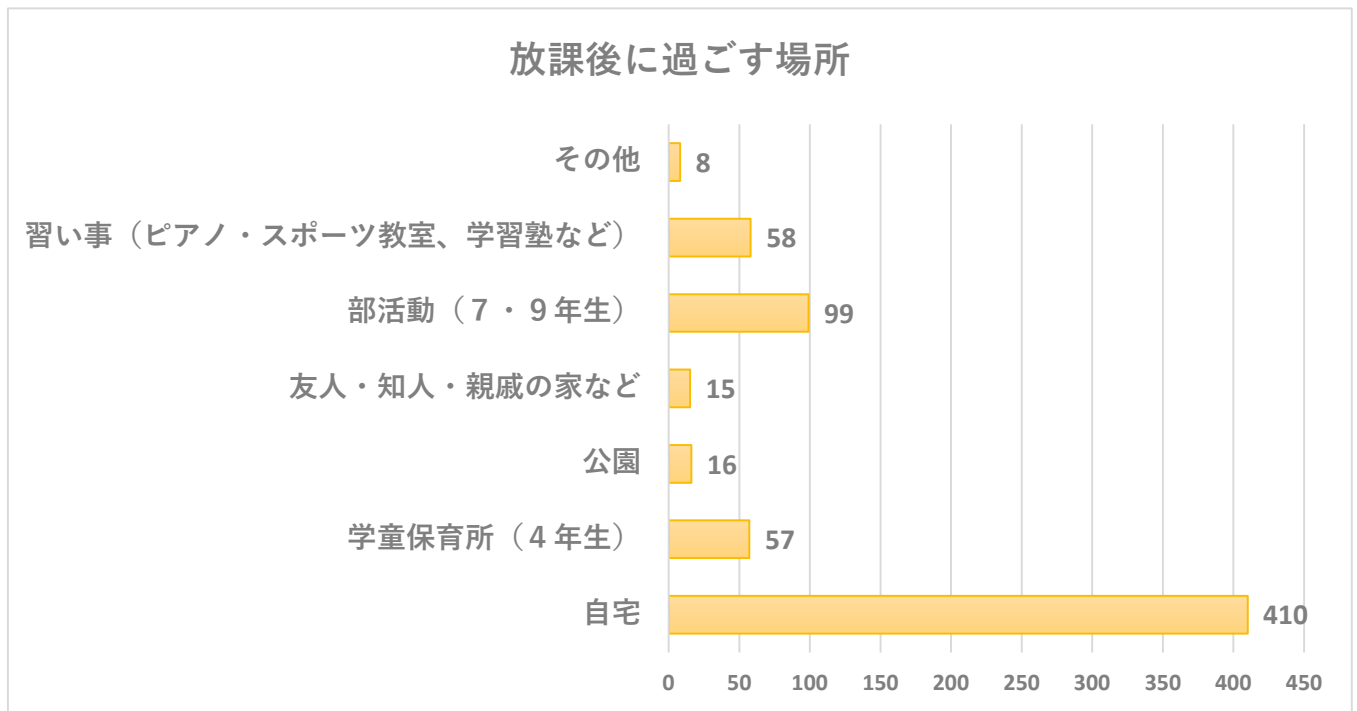
6. 将来の夢はありますか？



（考察） 将来の夢を持つ児童、生徒は6割を占めている。

4割弱の生徒が進路に迷っていると考えられる。若者への就労支援として、市内各所の事業所の仕事内容を体験する取り組みの他、企業誘致などによる職種の増加により、こどもたちの就職先を選択できるような取り組みが必要となる。

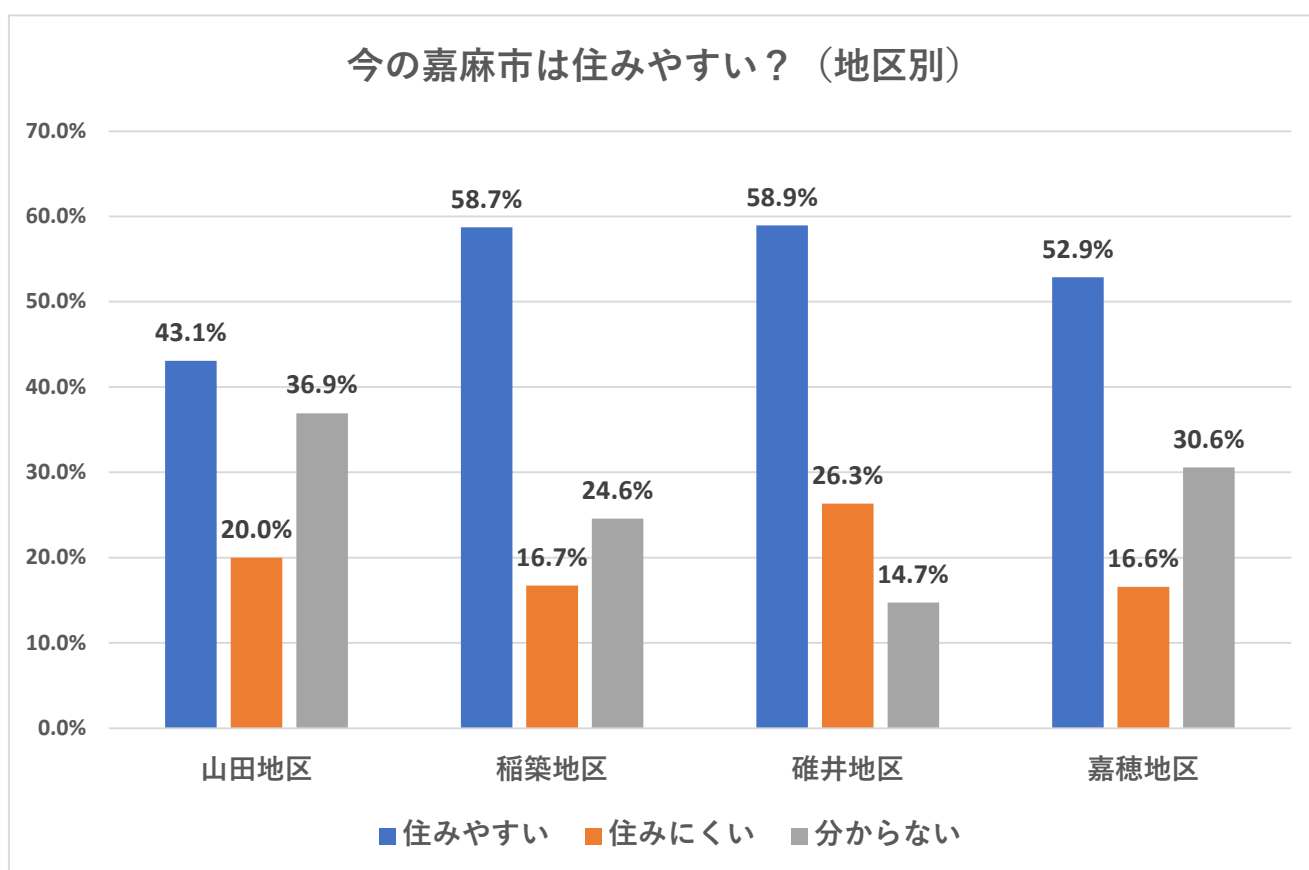
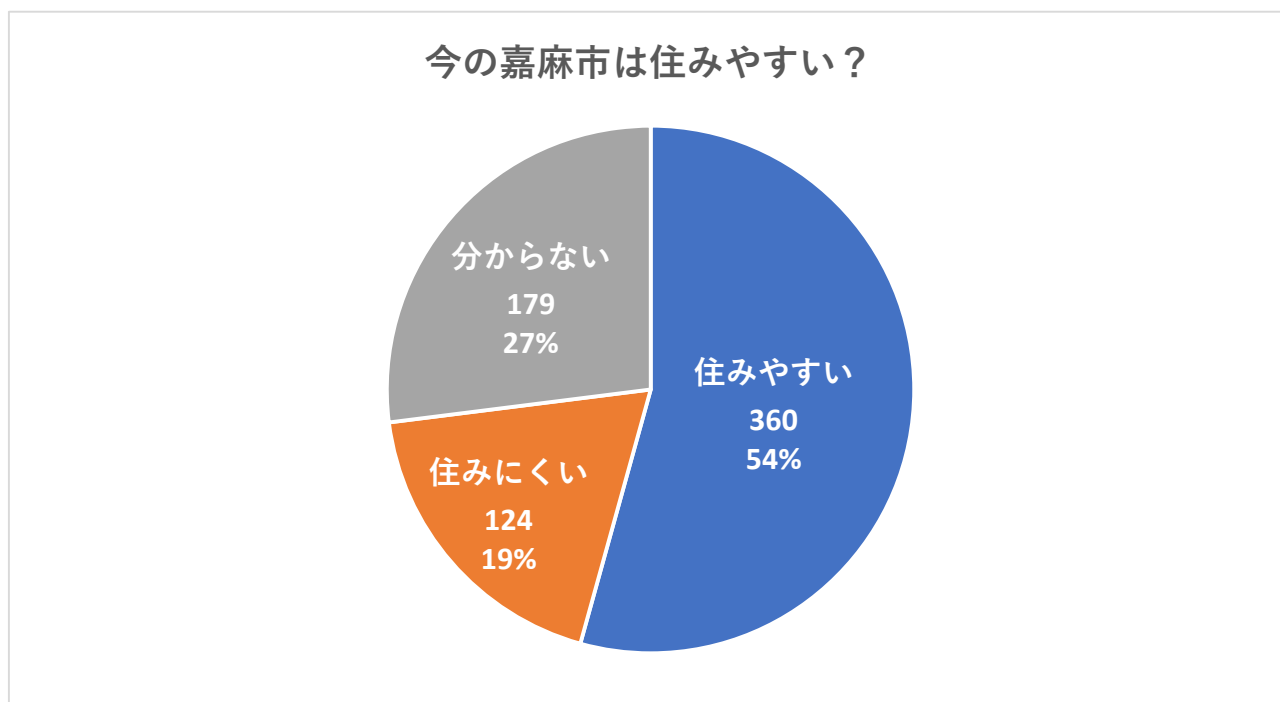
7. 学校から帰ってどこで過ごしていますか？



（考察） ほとんどの児童、生徒が放課後に自宅で過ごすと回答している。

７年生、９年生４６６名の生徒の内、部活動９９名、習い事３８名であり、運動や文化活動などを行っている生徒は３割ほどであった。

8. 今の嘉麻市は、あなたにとって住みやすい市になっていますか？

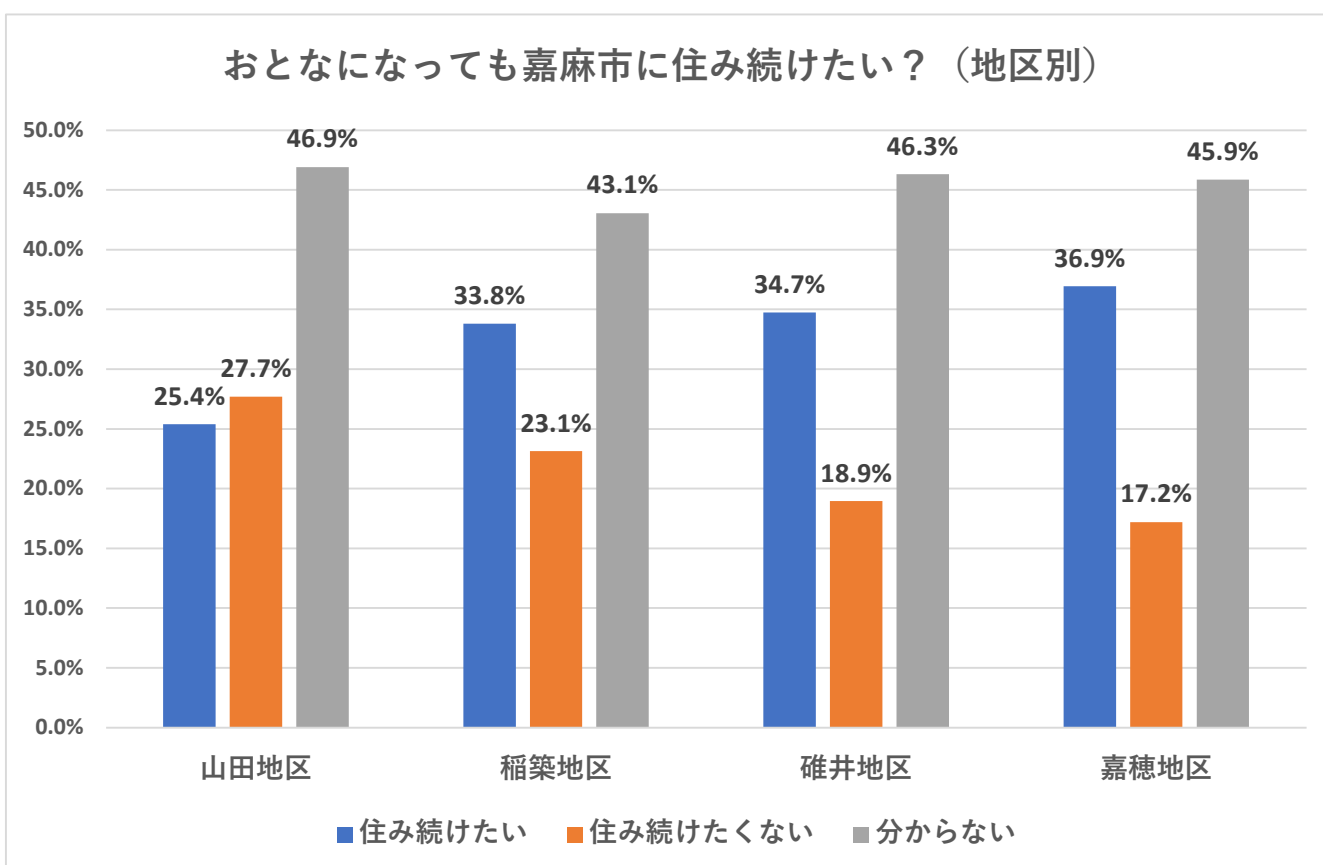
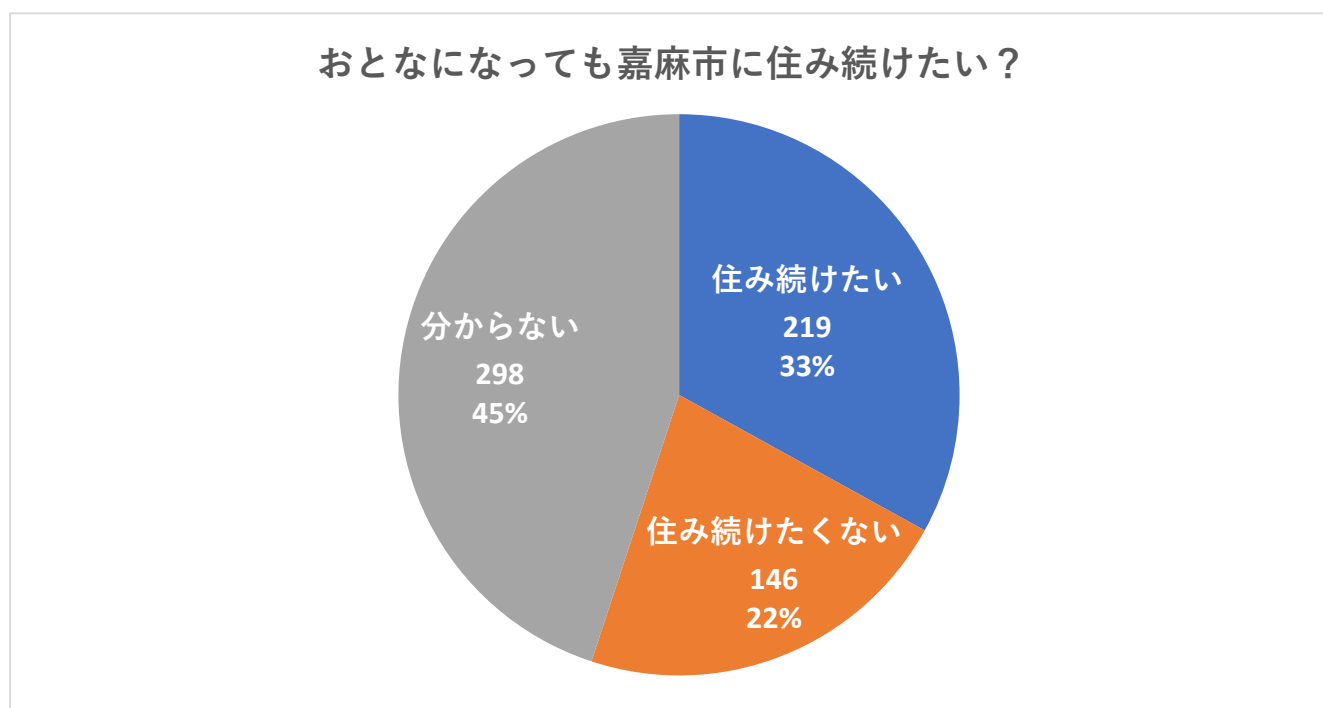


（考察） 住みやすいとの回答が半数以上を占めている。

嘉穂地区では5.において「生活するのに不便」と回答する割合が高かったが、住みやすさでは半数以上が住みやすいと答えている。住みやすさの原因を調査することも、少子化対策につながるのではないと思われる。

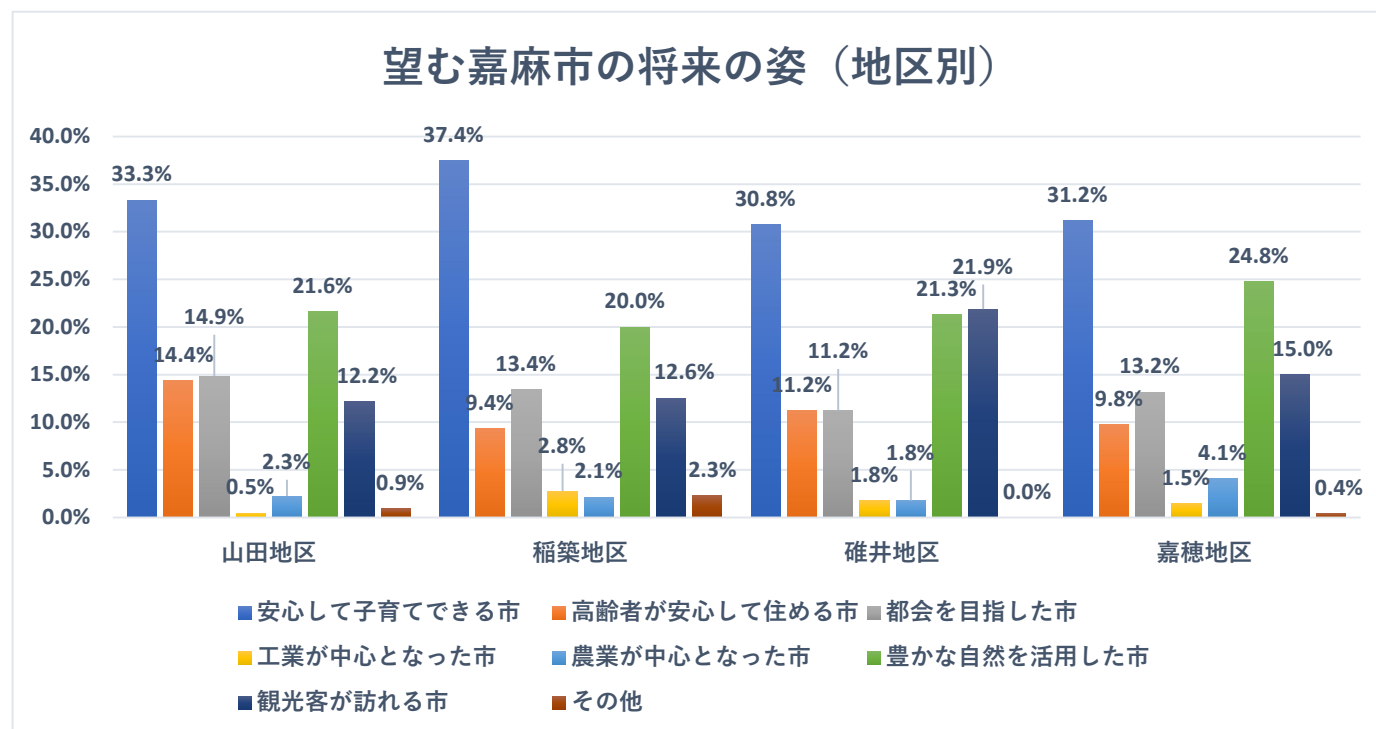
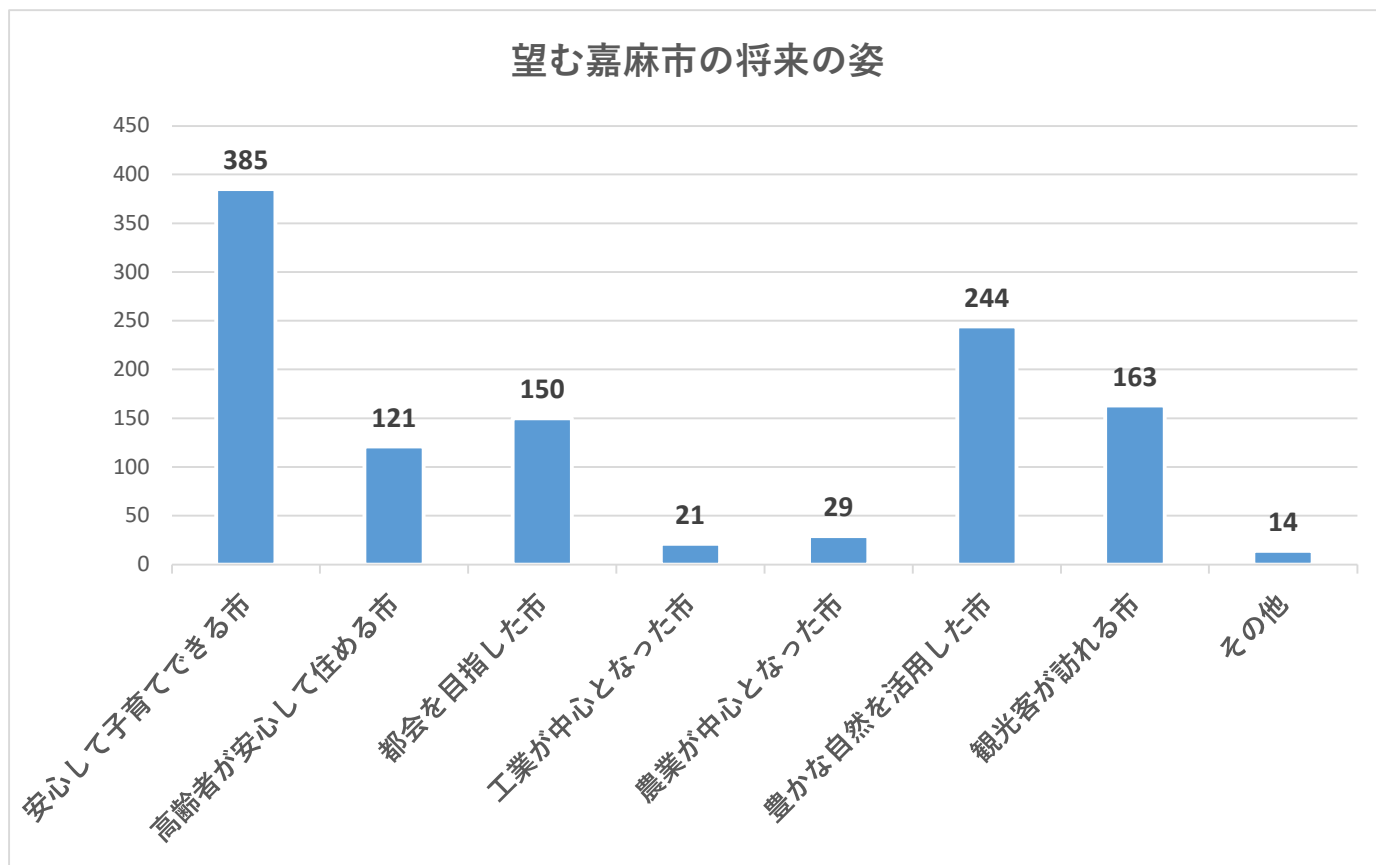
碓井地区では住みにくいとする割合が、他の地区と比べて若干割合が高くなった。

9. あなたはおとなになっても嘉麻市に住み続けたいと思いますか？



（考察） 前項の住みやすいに比べ、住み続けたいかとの問いに、住み続けたいは3割程度となった。特に山田地区では「住み続けたくない」が「住み続けたい」を逆転している。どの地区も「分からない」が多数を占めており、将来嘉麻市で就業できること、又は、近隣へ勤め、嘉麻市に住居を構えられることを念頭に子育て支援を行う必要がある。

10. これから嘉麻市は、どんな市になってほしいと思いますか？

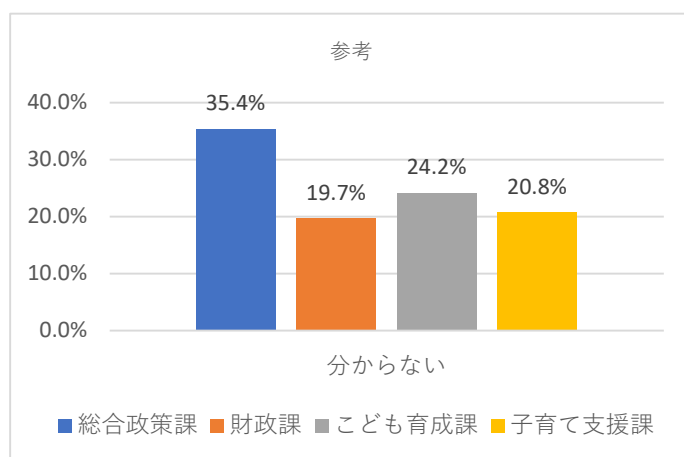
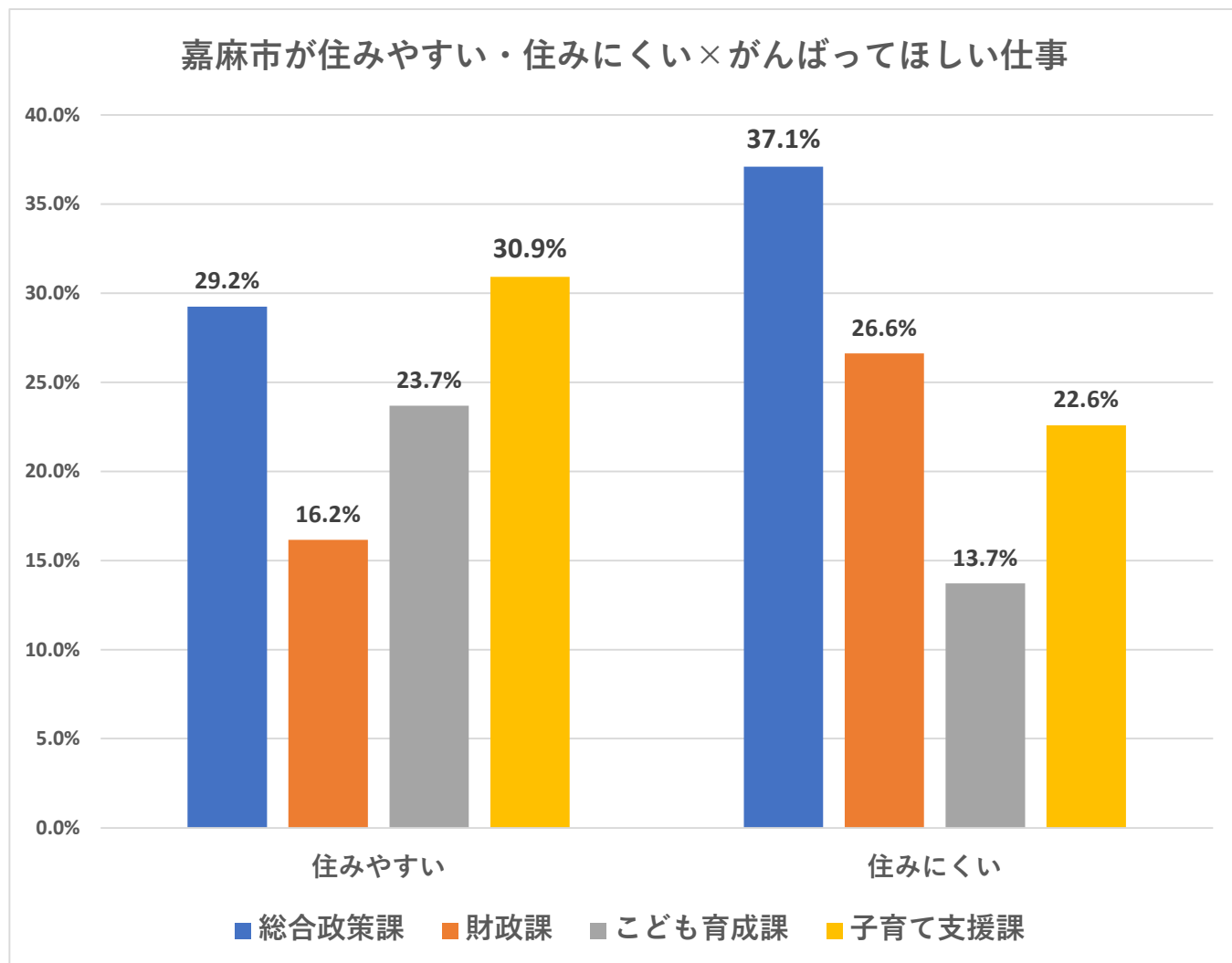


（考察） 将来安心して子育てできる市を望む回答が多かった。

嘉麻市の魅力である豊かな自然を活用した市を望む回答も多く、特に嘉穂地区は1／4の児童、生徒が回答している。

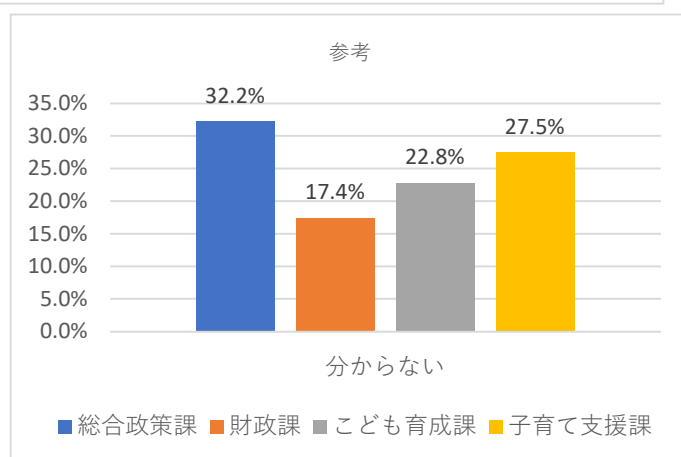
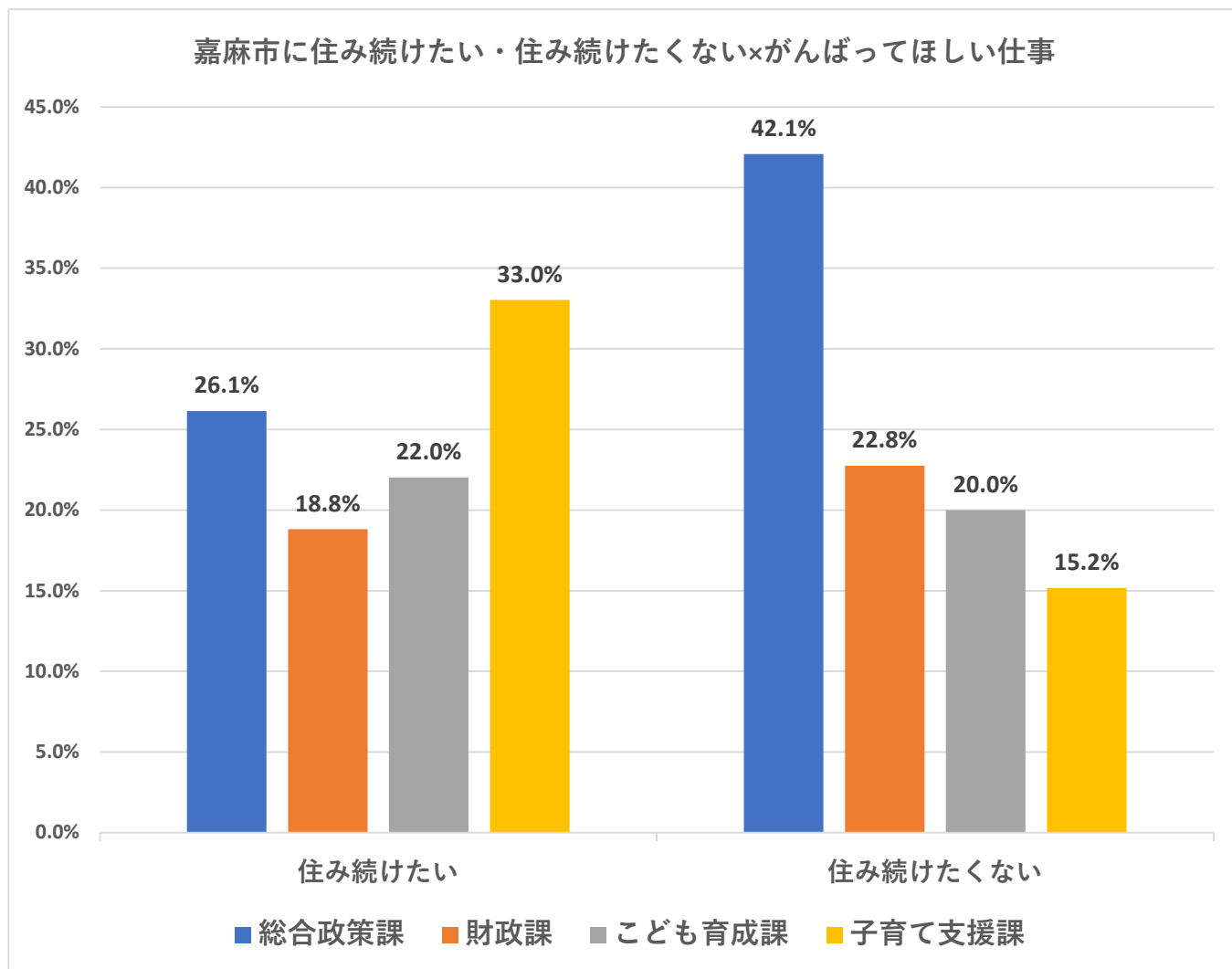
碓井地区では観光客が訪れる市を望む児童、生徒の数が他と比べて多かった。

1 1. 今の嘉麻市が住みやすい・住みにくいと回答した児童、生徒が望む
こどもたちが暮らしやすくするために嘉麻市にがんばってほしい仕事



(考察) 住みにくいと回答した児童、生徒の4割近くが、総合政策課を頑張ってほしいと回答しており、嘉麻市全体の政策を充実させることで、「住みやすい」に転換できるのではないかとと思われる。同様に財政課も3割近くあり、市の政策における予算の使いどころによっては住みやすさにつながるとと思われる。

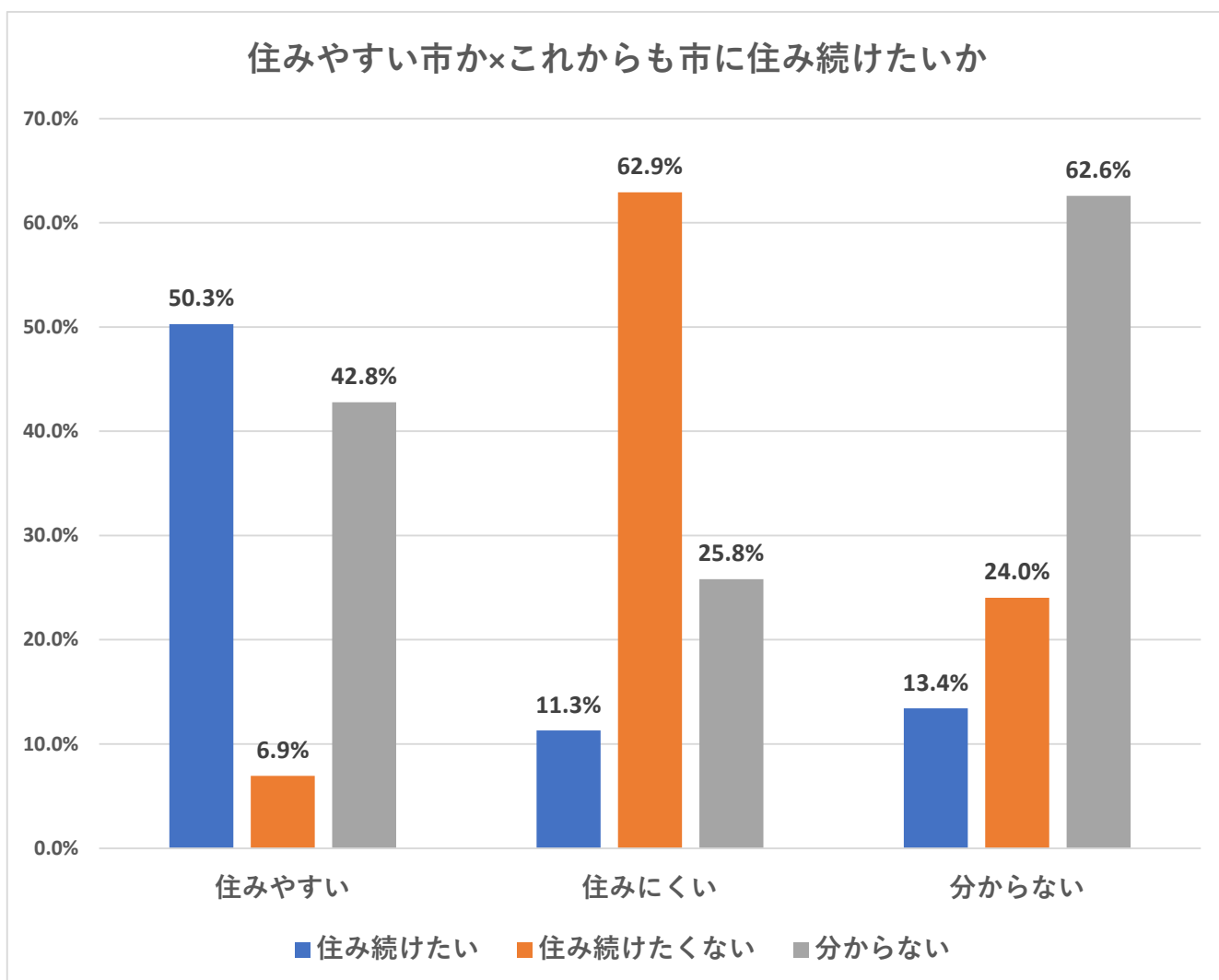
1 2. おとなになっても嘉麻市に住みたい・住みたくなないと回答した児童、生徒がどんな市役所の仕事をがんばってほしいと思っているか。



（考察） 住みたいと回答した児童、生徒が頑張してほしい仕事として、子育て支援課を多く挙げている。将来住み続けるために子育て支援に期待するものと思われる。

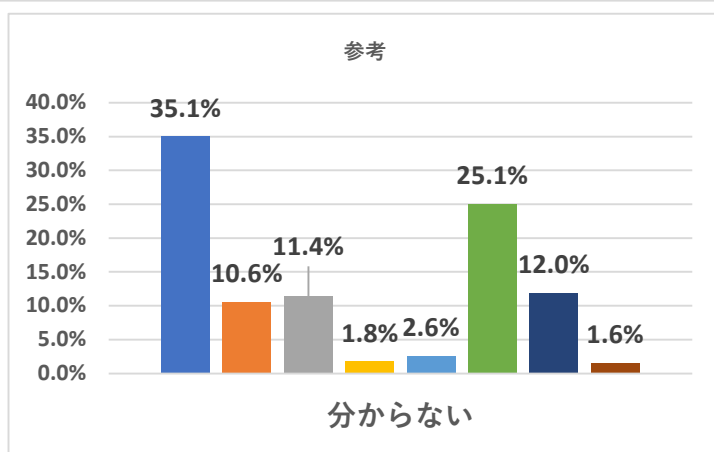
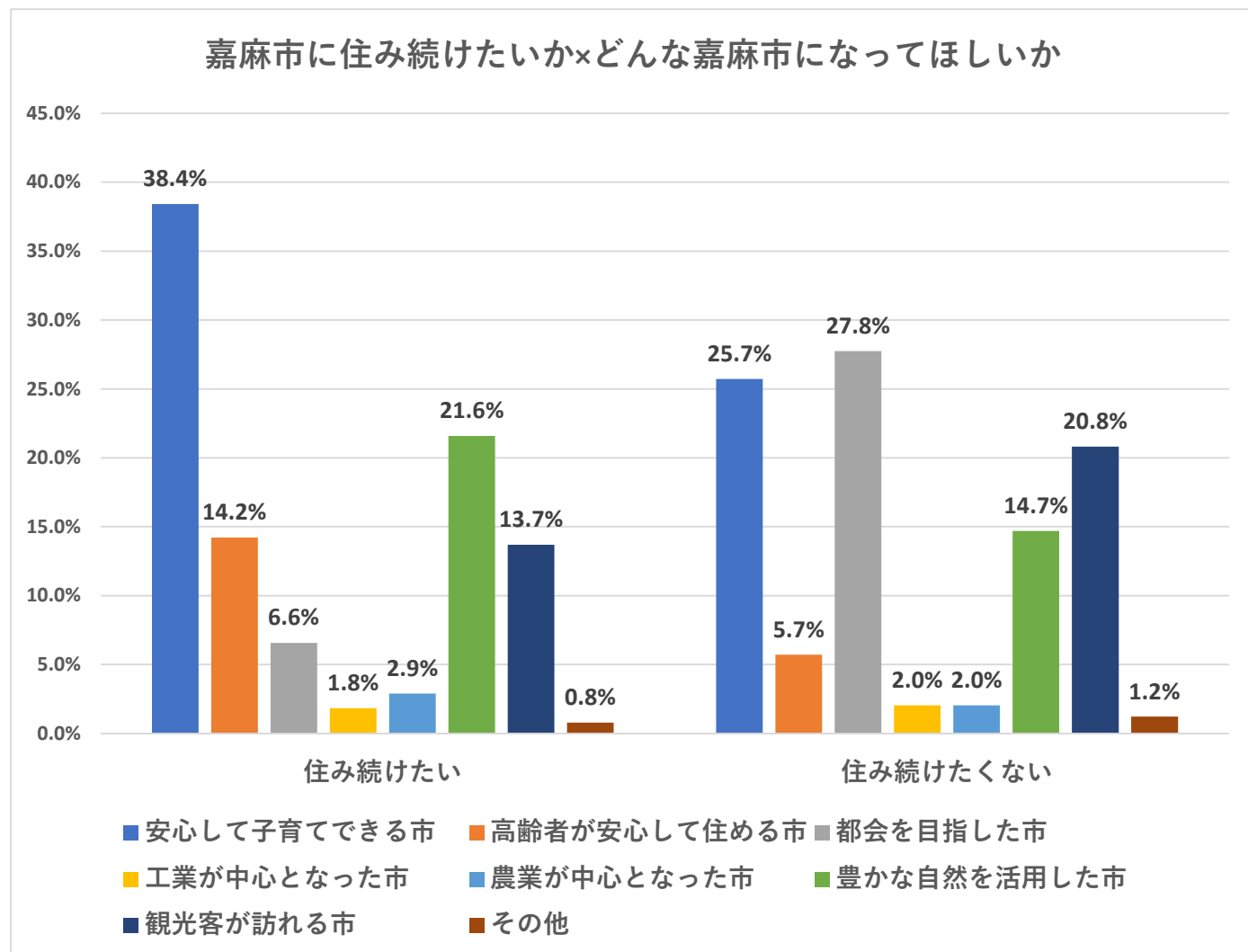
住みたくなないと回答した児童、生徒の4割以上が、頑張してほしい仕事に総合政策課を挙げており、全体的な政策が定住に関わってくるとと思われる。

1 3. 今の嘉麻市が住みやすいか回答した児童、生徒が、今後も嘉麻市に住み続けたいと思っているか。



(考察) 住みやすい回答の内、分からないとの回答が4割以上あり、子育てを含めた市の政策内容によっては住み続けてもらうことが出来ると思われる。

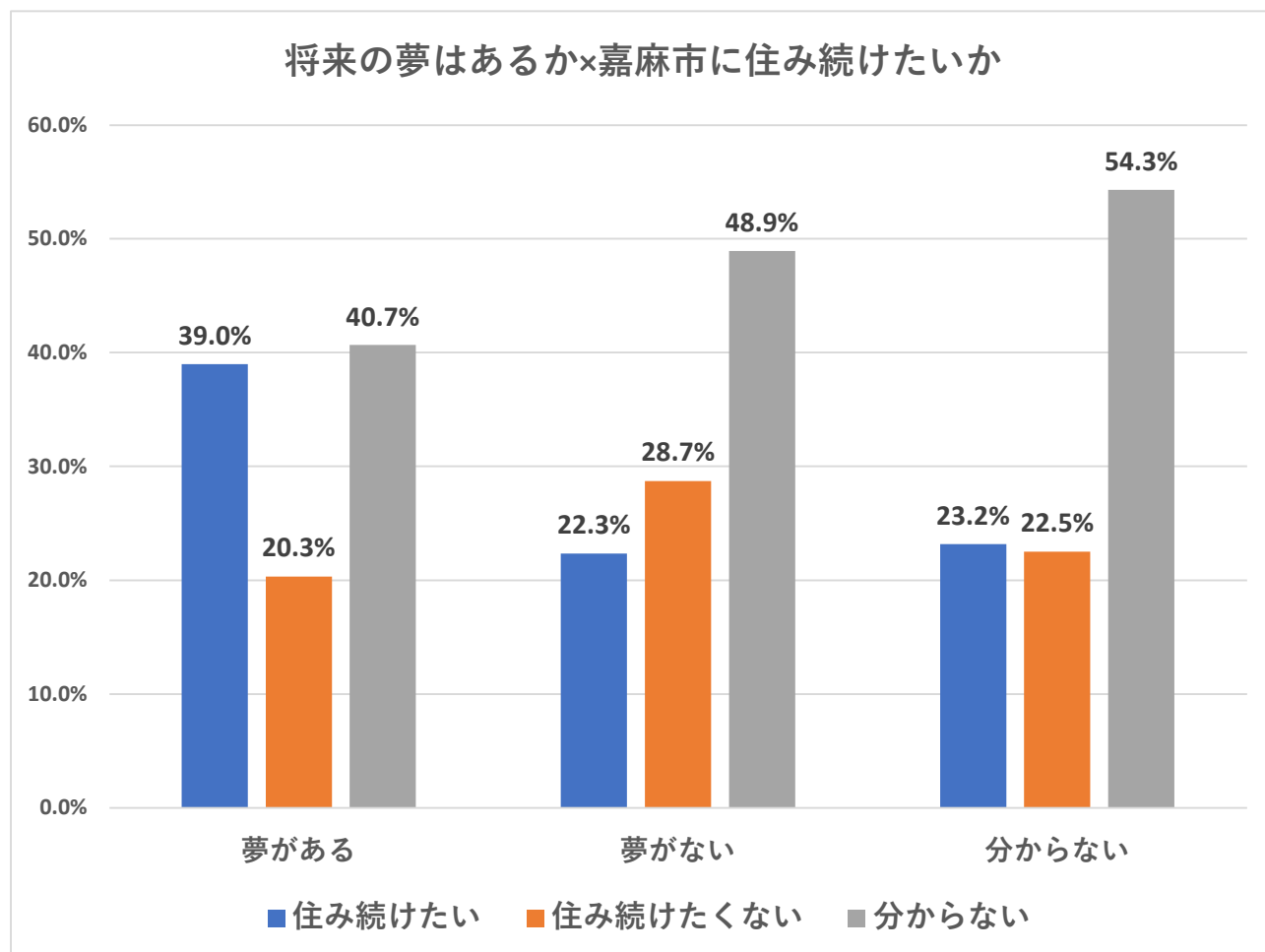
14. おとなになっても嘉麻市に住みたい・住みたくなないと回答した児童、生徒が、嘉麻市にどんな市になってほしいと思っているか。



（考察） 安心して子育てできる市がどれも多いが、住みたくないを選択した中では、都会を目指した市、観光客が訪れる市を望む割合が高い。

住みたい、分からないを選択した児童、生徒は豊かな自然を活用した市を望む割合が高いことから、子育て支援と併せて、嘉麻市の自然を十分に活かしたまちづくりをすることが、定住促進につながると推察される。

15. 将来の夢がありますか？に回答した児童、生徒が、嘉麻市に住み続けたいと思っているか。



(考察) 夢がある児童、生徒の約4割が住み続けたいと答えていることから、嘉麻市で夢をかなえるための職業体験や相談支援などを充実させることが考えられる。
また、夢がまだ定まっていない児童、生徒にも相談支援を行うことで、夢を持つことが期待され、市への定住も考えられる。